

実技系研修 A～D (13:00～17:30) 相模原キャンパス

*A～D より 1 つお選びください。(定員に達し次第締め切ります)

*午前中の講義系研修 I・II から引き続き受講ください。

実技系 (絵画) : 『黄金背景のキメラを描こう!』定員 : 20 名程度

内容 : 木製ボードに、様々な金箔や銀箔の腐食効果を施し、動植物の画像を貼り付けその上から描画、オリジナルの「キメラ生物」を生み出してもらいます。異界に住む奇妙な生物は、昔は鳥獣戯画から、現代ではアニメやゲームコンテンツ等、古今東西で描かれ続けています。動植物を掛け合わせた生物は、信仰や娯楽、絵画等、私たちにとって馴染みの深いもの。今回はコラージュ絵画を描きながら、金箔の種類や使用方法、螺鈿などの様々な素材を使用します。最後に創造主としてその生物の名前やストーリーを考えてみましょう。

持ち物 : 筆記用具、いらなくなった雑誌 (*)、簡単な描画用具 (水彩、アクリル絵の具など。) (*)(筆記用具以外はある場合のみ結構です)



<講師> 鴻崎正武 准教授
芸術学部 美術学科
洋画専攻

実技系 (版画 : リトグラフ) : 『リトグラフってどんな技法?』定員 : 8 名程度

内容 : 版画の一種「リトグラフ」をご存知ですか? ミュシャやホックニーの作品で知られるリトグラフは、水と油の反発を利用してイメージを印刷する方式です。自由な線や風合いを出すことができ、版面に直接描いたイメージをほぼそのまま紙に刷り取れるのが特徴です。アルミ版にクレヨンなどの油脂分の強い描画材で絵を描いたあと、化学的な製版を行います。次に版面にインクをのせ、プレス機で圧をかけて印刷していきます。今回は専用プレス機での印刷を体験していただきますが、美術室にある銅版プレス機でも印刷できるようレクチャーいたします。

持ち物 : 下絵 (15cm×21cm、縦横自由)、エプロンなど汚れてもいい服装



<講師> 清水美三子 教授
芸術学部 美術学科
洋画専攻 (版画)

実技系 (立体 : 金属) : 『銅板打ち出しによる彫刻、レリーフ制作』定員 : 10 名程度

内容 : ホームセンターにある簡易的なガスバーナーを使って、銅板を加工する技術ご紹介・実際に体験し、「レリーフ」・「オブジェ」・「その他の立体物」など様々な作品・表現方法への展開も考えていただきます。

立体(金属)分野は、各校の設備等の関係で、授業で取り入れが難しく感じられるかもしれませんが、高校でも可能な授業の提案を行いますので、生徒さんへの指導へ生かして頂けたら幸いです。

持ち物 : 作業服、作業用手袋 (薄手の革手袋が望ましい)



<講師> 平戸貢児 教授
芸術学部 美術学科
立体アート専攻

実技系 (工芸) : 『古代の技法スプラングを楽しもう』定員 : 20 名程度

内容 : 先史時代から道具を使わずに布をつくる技法として世界中で行われてきたスプラング。残念なことに日本の遺跡からは発見されていません。平行に張られた経糸の両端を固定し、隣り合う糸を指で絡ませると、上下対象の布が現れます。この斜めに絡み合う基本的な構造は、織物 (織機を用いる技法) 以前の主要組織 (編・もじり・交差) が網羅されています。このプリミティブな布づくりを通して、糸を布へと変える人類の普遍的な発見を追体験しながら、色彩を含めた造形への展開を探ってみましょう。

持ち物 : ハサミ/編み棒 7～8 号 (*)(ハサミ以外はある場合のみ結構です)



<講師> 工藤聖美 教授
芸術学部 デザイン工芸学科
工芸専攻